

令和5年度 森づくり月間啓発行事実績報告書

1 取組のポイント

森林普及啓発事業について、これまでの取組状況を踏まえ、以下の点から大幅な見直しを行った。

- (1) 森づくりを中心に据えた内容とし、啓発効果を高める。
- (2) 事業の効率化を図る。
- (3) 啓発目的に設定されている「とよた森づくり月間」(10月)を生かす。

<これまでの森林普及啓発事業の取組と問題点>

年度	おもな取組	問題点
H28~R1	・木育イベントの開催 ・木育や木材利用を中心としたイベント出展	・木育や木材利用が中心 →森づくりの啓発が希薄化 ・森づくり月間以外での開催 →森づくり月間が形骸化
R2~R4	・各種イベントへ出展 R2 0件 ※コロナの影響 R3 3件 R4 7件	・出展に係る人的負担が増大 ・啓発効果が限定的 →出展スペースが限定 →対象がイベント来場者に限定

2 実施概要

(1) 目的

条例・構想を制定後、森林は市民財産として公的に森林整備を推進してきた豊田市の森づくりの取組の成果、合併後～現在の森林(人工林)や木材利用の現状を市民に知ってもらうとともに、街の中で森林を感じる空間を創出し、感謝の意を伝える。

(2) 開催概要

① 森 Thank You

会期	令和5年10月24日(火)～31日(火) ※8日間 各日午前10時～午後8時(31日のみ午後6時まで)
場所	T-FACE 6階連絡通路
来場者数	8日間合計 約5,500人(ジオラマ体験者数×3倍と推定) ※内訳:ジオラマ体験者1,803人、ワークショップ体験者7人
内容	間伐作業を疑似体験できる体験型森林ジオラマ、動画放映、感謝話BAR、ウッドチッププール、企業・市民団体等の活動PRブース、物販、ワークショップ(土日限定)、その他(地域材の什器類、樹木の装飾など)
出展者	豊田市森林課、ウッディーラー豊田(WD)、トヨタ自動車(株)、トヨタ車体(株)、(株)モビテック、トヨタT&S(株)、矢作川水系森林ボランティア協議会

② サブ展示(豊田市役所 南庁舎2階 市民ロビー)

期間:令和5年10月2日(月)～31日(火) ※期間中30日間  
内容:「森 Thank You」PRブース、スタジアムライトアップ写真パネルほか

③ 豊田スタジアムライトアップ

期間:令和5年10月1日(日)～31日(火) ※期間中26日間  
内容:スタジアム屋根外縁部のチューブライトを緑色に点灯

④ その他取組

期間:令和5年10月2日(月)～31日(火) ※期間中30日間  
内容:懸垂幕・PRのぼり掲揚(本庁舎、各支所ほか10箇所)、公用車マグネット掲示

3 実施結果(「森 Thank You」分)

(1) 来場者数:約5,500人(ジオラマ体験者数×3倍と推定)

(2) 体験型森林ジオラマ

体験者数:1,803人

単位:人

24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	合計
146	101	152	192	480	423	194	115	1,803

(3) 感謝話 BAR

森林林業に関わる就業希望者3人ほか

(4) 企業等 PR ブース

出展団体:トヨタ自動車(株)、トヨタ車体(株)、(株)モビテック、トヨタT&S(株)、矢作川水系森林ボランティア協議会  
内容:森づくりの活動に関するパネル展示、どんぐりグッズ配布(トヨタT&S(株)など)

(5) 物販

商品	単価(税込)	販売数	小計	備考
手ぬぐい	1,650円	50/50	82,500円	ウッディーラー 豊田の売上
バッグ	小	2,200円	10/10	
	大	2,750円	20/20	55,000円
Tシャツ	4,620円	16/100	73,920円	
書籍	800円	6冊	4,800円	豊田市の雑入
合計			238,220円	

(6) ワークショップ

実施日	内容	単価(税込)	参加者数	小計
28日(土) ～29日(日)	シロフォン作り	1,650円	3	4,950円
	トートバッグ作り(Sサイズ)	1,540円	0	0円
	トートバッグ作り(Mサイズ)	1,815円	2	3,630円
	花柵アレンジメント	2,530円	2	5,060円
合計			7	13,640円

4 広報

(1) 広報媒体

市報道発表(9月22日)、市公式SNS(Instagram、Facebook、LINE、X)、他団体SNS(ウッディーラー豊田、ウッディーラー豊田理事会員の企業等の公式Instagram)

(2) メディア掲載実績

中日新聞豊田版(10月25日)、ひまわりNW市政番組「とよたNOW」特集(10月16日～20日)、FMとよた(10月23日)、矢作新報(10月27日)

## 5 費用など

### (1) 主な経費

項目	内容	経費	備考
企画・設計・デザイン		450,000 円	ウッディーラー 豊田負担金
製作・購入	ジオラマ、ウッドチッププール、カプセルトイなど	796,000 円	
リース料	企業ブースパネル	134,500 円	
人件費		710,000 円	
その他		649,050 円	
	小計	2,739,550 円	
会場使用料		148,500 円	市支出分
	合計	2,888,050 円	

### (2) 職員対応 単位:人

23日(月)	9	搬入・設営	
24日(火)	6	運営	
25日(水)	7		
26日(木)	6		
27日(金)	8		
28日(土)	9		
29日(日)	7		
30日(月)	7		
31日(火)	9		
	11		撤収・搬出
合計	79		



<体験型森林ジオラマで来客対応する職員>

## 6 総評 ※ブースごとの評価は別添参照

- ・集客目的や楽しいだけのイベントではなく、森林課として伝えるべき・伝えたいことを軸に、ゆっくり動画や間伐作業が疑似体験できるジオラマなどの効果的な催しを開拓できた。
- ・市民に対しての豊田市の森づくりの説明として、去年までは1人平均1分であったが、今年は1人平均10分説明することができた。
- ・8日間の開催期間と会場の特徴から、イベント目的ではない老若男女の無関心層に対しての発信としては、大変有効であった(平日:主婦や子連れの家族、高校生や会社帰りの人、土日:子連れの家族)
- ・紙媒体のチラシ配布等による周知はせず、SNSやHPの発信のみとしたが、遜色のない集客ができることがわかった。
- ・来客者だけでなく、実施側や関係者からも満足度は高いとの意見を多くいただいた。また、ジオラマの説明をする中で、職員の基礎的スキルや伝える力の向上に効果的であった。
- ・企業等の取組の発信の場、企業間の交流の機会として、参画企業からもよい評価をいただいた。
- ・ウッディーラー豊田は、森林課の趣旨や意向をしっかりとくみ取った企画や演出を行い、高く評価できる。

## 7 所感

今回のイベントを通して、取組ポイントの観点から一定の効果があったと感じたため、来年度も引き続き当イベントを開催し、併せてコア層に向け令和4年度に行った森づくり報告会のような催しを森づくり月間中に開催するなど検討をしていきたい。

## 8 その他 会場写真

### ① 体験型森林ジオラマ



### ② 「森 Thank You」動画の放映



### ③ 感謝話 BAR



### ④ ウッドチッププール



### ⑤ イベント限定グッズ販売



### ⑥ 企業・市民団体等のPRブース(トヨタ T&S(株))

